

S S K

視覚 障害

昭和五十六年六月一五日SSK通刊第八二八号（毎月六回、5の日、0の日発行）
昭和四十六年六月一七日 第三種郵便物認可



その研究と情報

1981年7月 No.54

ISSN 0385-7476

＊世界ニ大メルヘンの原典からの完訳を、

読みやすく、美しい装丁でおとどけします。

岩波文庫に収録されているこの二つの童話集は、いずれも訳者畢生の業績で、金田訳「グリム」は原書決定版よりも多くの話数が収められ、大畑訳「アンデルセン」はデンマーク語からの唯一の個人全訳として、ともに名声を博しているものです。もっと大きな活字で読みたい、図書館や学校図書室で保存・貸出しができる堅牢な造本にしてほしい等々の御要望に応え、新装版として刊行いたします。



グリム童話集「靴はき猫」

完訳 グリム童話集 全5巻

金田鬼一訳

グリム兄弟が、ドイツ各地で口から耳へと語り伝えられるメルヘンのかずかずをあまねく採録して成った口承文学の一大宝庫。みことな語りくちで定評ある金田訳は、この宝庫を開くかけがえのない鍵である。
四六判上製函入・平均三六六頁 定価Ⅱ①②③各二〇〇〇円 ④⑤各一八〇〇円

完訳 アンデルセン童話集 全7巻

大畑末吉訳

アンデルセンの童話は、決して口あたりよい砂糖菓子のようなものではない。どんな空想的な話の中にも、作者の波瀾の人生の一片が封じこめられていて、おとなであれ子どもであれ、読む人の心をゆさぶる。名訳を豊富な挿絵とともに。
四六判上製函入・平均三一八頁 定価Ⅱ各一八〇〇円

第一回／第1巻同時発売！

グリム・アンデルセンとも毎月5日に巻数順に1冊ずつ刊行。
(アンデルセンのみ11月2冊刊) ▶本書は各巻分売いたします。

岩波書店



東京千代田一ツ橋 2-5-5
振替番号〈東京〉6-26240

海外の障害児教育



スウェーデン・ストックホルム市郊外にあるシャホルメン高校。生徒数850人、そのうち30人が車イスの生徒である。

スウェーデンでも、かつては障害児は特殊教育学校に通っていたが、ノーマライゼーションが進み、各地で障害児を受け入れる学校がふえている。このシャホルメン高校は1974年に新設された学校だが、障害児を受け入れるために、セラピスト、カウンセラー、看護婦が常駐し、自動ドア、エレベーターなどが最初から準備されていて、授業もヨーロッパの多くの国と同じように二人担任制であること、生徒の意識も高いことなど、統合教育をすすめる条件は熟している。



スウェーデンでは、1980年代の早い時期に特別学校を廃止する方針である。同時に施設の解体にともなって、地域での受け入れ体制の充実が進められている。

アメリカ・シアトルにあるワシントン大学小児発達センター。

アメリカでは、60年代初めのケネディ大統領の時代に知恵遅れ児の対策が進められたが、ワシントン大学のドミトリエフ教授は、行動主義の心理学に基づくダウン症児の教育にとりくみ、知恵遅れ児の早期教育が有効であることを実証した。



2歳になったばかりのアダム君が母親といっしょに、ドミトリエフ教授の研究室で行動療法を受けている。



2歳半のベン君と父親。このセンターでは親の子どもへの働きかけを重くみて、両親の指導にも力が入れている。

これまで、知恵遅れ児の対策が遅れていたスペインでも、ここ数年、関心が急に高まっている。

バルセロナ市では、ワシントン大学小児発達センターのドミトリエフ教授の指導を受けて、行動療法の立場からダウン症児の教育にとりくんでいる。



目 次

1981 年 7 月 No.54

2 ページ評論	小柳 恭治...	2
特集 諸外国における視覚障害児教育		
西ドイツの障害児教育改革と盲・弱視教育		5
英米の視覚障害児教育の現状と課題		16
カナダとアメリカの視覚障害児教育		30
英国における視覚障害児のための教育相談サービス		35
ソ連の視覚障害児教育の現状		38
イタリアの統合教育		47
80年代の視覚障害児教育(4)		
家政科設立の経過 現状と今後の課題	千田 米蔵...	52
この人 一美ちゃん卒業おめでとう!		60
インフォメーション・コーナー		64
編集後記		69

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

今年の4月に、5人の盲児童が、東京都と埼玉県で公立中学に進学しました。公立では、仙台の尾形真澄さんに次ぐ事例です。5人とも、小学校から統合教育を経験しているので、学校生活にはさほど支障はないでしょうが、問題は教材作りにあるのではないのでしょうか。数学、理科、英語など内容が難しくなるとともに、正確な点訳は格段に難しくなります。それをこなせる点訳スペシャリストは、きわめて少ないのが現状です。「インフォメーション・コーナー」にもあるように、両親やボランティアにどこまで頼れるのか、それを思うとスペシャリストの養成は急務ではないでしょうか。

大学受験でも同じです。東京では、筑波大附属盲学校の教員が中核になっていますが、パンク寸前の状態で校内で問題化されつつあると聞きます。スペシャリストを集中管理し、敏速な対応がとれるような体制作りが必要な時期になっているようです。それをどこがやるのか、諸外国の例に学ぶまでもなく、わが国でも真剣に検討されてよいはずです。

(田中 徹二)

視 覚 障 害 1981年 7 月 No.54

年間購読料 2,500 円 (送料とも)

発行日 1981年 7 月 1 日

編集人 (連絡先)

日本盲人福祉研究会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目
日本点字図書館内 23番4号

電話 (03) 200-1130

振替口座 東京 6-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砧8-21-3

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電話 (624) 6111 (代表)

協賛団体 日本点字図書館